

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第33週 平成16年8月9日(月)～平成16年8月15日(日)

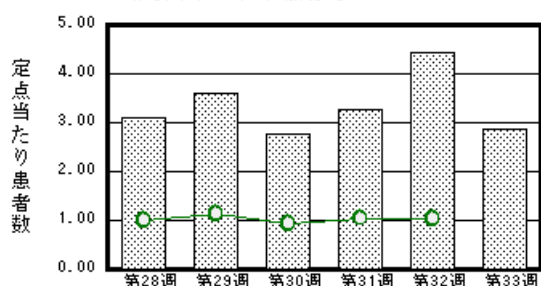
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

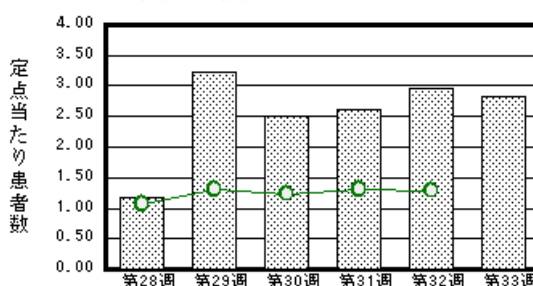
## 注目疾患の動向

- 1 【報告数の多い疾患】 流行性耳下腺炎 (66名) 手足口病 (65名) 突発性発しん (23名) 水痘 (2名) 感染性胃腸炎 (2名)
- 2 【流行性耳下腺炎】患者報告数が減少しました (102名 66名)。
- 3 【手足口病】患者報告数は減少しましたが (68名 65名) 過去5年間の同時期と比べて報告数が多くなっています。
- 4 【腸管出血性大腸菌感染症】O26の届出が2名ありました。県内では6月以降、発生が続いています。全国的にも多く発生しています。手洗いや食品の温度管理、十分な加熱など一般的な食中毒予防を心がけましょう

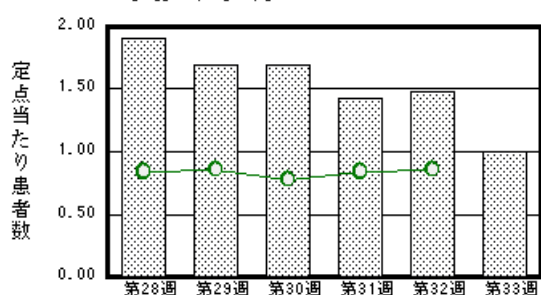
流行性耳下腺炎



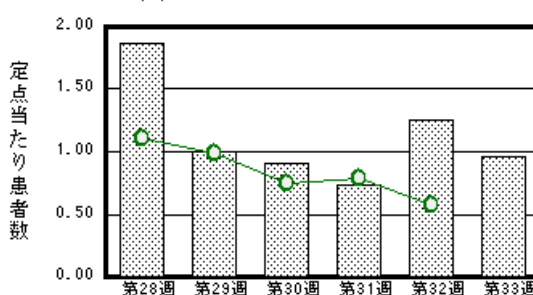
手足口病



突発性発疹



水痘



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

## 全国版感染症週報 (DWR) 2004年第31週号 (7月26日～8月1日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第31週 > 手足口病 - 定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加し続けた後、第30週は微減したが、第31週は再び微増した / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第31週の報告数は198例で、1週間の報告数としては第29週に次いで多い < コレラ > 2004年のコレラの報告数は、第31週までに39例である
・ 病原体情報	無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2004年 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス2004年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2004年
・ 速報	今夏のヘルパンギーナについて - 大阪府
・ 海外感染症情報	スーダンでのエボラ出血熱流行 終息宣言 / 英国で献血による変異型CJD (vCJD) 感染者の2例目の発見 / アイルランド人2名がポルトガル旅行でウエストナイルウイルスに感染 / 米国でのウエストナイルウイルスの活動性
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

佐賀県感染症情報センター

http://www.kansen.pref.saga.jp

## 全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O26) (三類感染症)	
患者 (住所地)	/	
無症状病原体保有者	2名 (第32週届出関係者)	
感染原因・感染経路	不明	
平成16年届出累計	9件23名 (今週0件2名)	
平成15年	同 期	14件28名
	届出累計	25件42名

## 佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 :五類感染症 (週報分)

平成16年第**33**週 平成16年8月9日 (月)~平成16年8月15日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第32週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								9 0.00
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								31
	咽頭結膜熱	2 0.25	6 2.00	1 0.25	3 1.00	4 0.80	16 0.70	11 0.48	2431 0.80
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	3 0.38	5 1.67	1 0.25		4 0.80	13 0.57	22 0.96	1713 0.56
	感染性胃腸炎	10 1.25	4 1.33		1 0.33	7 1.40	22 0.96	20 0.87	7554 2.49
	水痘	4 0.50	1 0.33	7 1.75	2 0.67	8 1.60	22 0.96	29 1.26	1737 0.57
	手足口病	16 2.00	9 3.00	15 3.75	8 2.67	17 3.40	65 2.83	68 2.96	3909 1.29
	伝染性紅斑		1 0.33	4 1.00	2 0.67		7 0.30	5 0.22	742 0.24
	突発性発しん	8 1.00	2 0.67	4 1.00	2 0.67	7 1.40	23 1.00	34 1.48	2602 0.86
	百日咳								46 0.02
	風しん							1 0.04	31 0.01
	ヘルパンギーナ	3 0.38	3 1.00	1 0.25	2 0.67	5 1.00	14 0.61	25 1.09	5736 1.89
	麻しん (成人 麻しんを除く)								21 0.01
流行性耳下腺炎	17 2.13	6 2.00	37 9.25		6 1.20	66 2.87	102 4.43	3124 1.03	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								13 0.02
	流行性角結膜炎							1 0.25	635 1.00
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								6 0.01
	無菌性髄膜炎								33 0.07
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00				1 0.17		84 0.18
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								4 0.01
	成人麻しん								3 0.01

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は31週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成16年第33週 平成16年8月9日(月)~平成16年8月15日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				1				1			1			6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満					1	6		12			1			12ヶ月未満								
1歳		1歳		4		3	2	17	1	9			5			1歳								
2歳		2歳		2		6	6	19	2				5		5	2歳								
3歳		3歳		1	1	2	5	13					1		12	3歳					1			
4歳		4歳		3	4	2	5	3					1		15	4歳								
5歳		5歳		4	5	1	3	4	3	1					11	5歳								
6歳		6歳			3	1				1					10	6歳								
7歳		7歳		1		1		2							6	7歳								
8歳		8歳													3	8歳								
9歳		9歳		1		2									1	9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳				3		1							2	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上													1	20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		16	13	22	22	65	7	23			14		66	合計						1		
前期計		前期計		11	22	20	29	68	5	34		1	25		102	前期計		1						
当期間/前	***	当期間/前	***	1.45	0.59	1.1	0.76	0.96	1.4	0.68	***		0.56	***	0.65	当期間/前	***		***	***	***	***	***	***
増減数		増減数		5	-9	2	-7	-3	2	-11		-1	-11		-36	増減数		-1				1		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき

